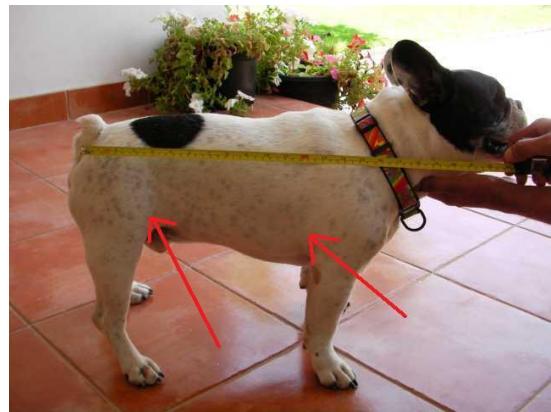


採寸写真撮影法マニュアル

採寸データ照合用写真の適切な撮り方について
まず、下記の写真をご参照ください



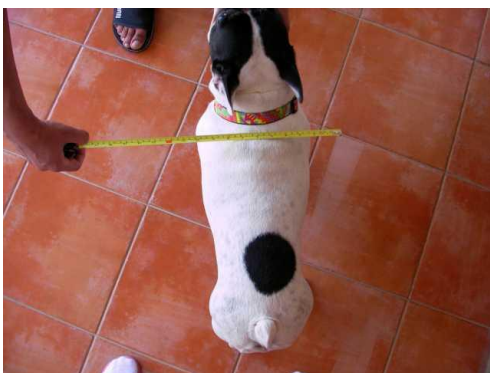
撮影時は、被写体にカメラは常に真正面にて撮影しますが、その際に必ず物差しや金属メジャーなど目盛りのある面を身体に添えて撮影してください。その際に物差しの位置が、身体の関節部分（右写真の矢印部分）に被らないように位置をずらして撮影します。

（採寸箇所が見えなくなり確認が出来なくなるので注意してください）
そして目盛りがはっきり見えるようにお願いします。

次に左写真をご覧ください。

脚の長さの照合の必要性から、脚のつま先が接地している部分がしっかりと撮影されている必要がありますので接地面から、身体全体が写るように撮影します。そして背中上面からの撮影をします。

この撮影も、上記と同じく背中に対して真正面から撮影することが肝要です。



被写体とカメラが斜めになったり、被写体の姿勢の乱れ、物差しの位置ずれや目盛りの不鮮明など、ご注意ください。

体毛の多い犬種の場合、目盛りが読み取りにくいので、各関節部分に何らかの目印を一緒に撮影してください。

次に 正常姿勢を再現できない場合や大型犬の撮影方法について
こちらの下記の写真をご覧ください。



基本的には、上記と同じで

撮影時は、被写体にカメラは常に真正面にて撮影します。

メジャーや物差しは、身体に密着させて添えるか

上記写真のように脚元へ添えるように置いて撮影する。

この場合も物差しの位置が、身体の関節部分に

写らないように 位置をずらして撮影すること。

(採寸箇所が見えなくなり確認が出来なくなるので注意)

そして目盛りがはっきり見えるように注意します。

体毛の長い犬は、各関節部がわかりますように、体毛をかき分けて
物差しを添えて撮影してください。

照合写真は、採寸データとの照合が必要であり、大変重要なデータです。

写真の不具合は、製作上、大変な支障を伴い、遅れを生じますし

再採寸や再撮影などの二度手間がかかる恐れがあります。

ですので、撮影時は、必ず、このマニュアルに沿って撮影してください。

どうしても上手く撮影が出来ない場合は、ご相談ください。